

阪神・淡路大震災から30年がたちました

1995年1月17日（火）午前5時46分に淡路島北部を震源地とする地震が発生し、国内で史上初めてとなる「震度7」の揺れを記録しました。今年で30年が経ち、被害の記憶も2011年の東日本大震災や昨年の能登半島地震による新たな大地震によって塗りかえられてしまっていないでしょうか。とくに同じ時代に生きていない、経験していないことを感じとるためには、その体験記や伝承によってしかキャッチできません。1月の三連休以降、阪神・淡路大震災に関連したさまざまな映画放映や特別番組が予定されています。自然災害が人々の人生をどのように左右させたのか知り、6437人の死者・行方不明者の方々の思い、いまでも傷ついている人々のためにお祈りしてください。

【映画】 港に灯がともる 1.17～上映

1995年の震災で甚大な被害を受けた神戸市長田区。当時そこに暮らしていた在日韓国人・金子家の娘として生まれた灯（あかり）は、両親から家族の歴史や震災当時の話を聞かされても実感を持たず、どこか孤独と苛立ちを募らせていた。震災で仕事を失った父・一雄は家族との衝突が絶えず、家にはいつも冷たい空気が流れている。やがて、しっかり者の姉・美悠が日本への帰化を進めようとしたことから、家族はさらに傾いていく。

【ドラマ】 心の傷をいやすということ (全4話) 再放送

阪神・淡路大震災発生時、自ら被災しながらも、他の被災者の心のケアに奔走した若き精神科医・安克昌（あん・かつまさ）氏。手探りながらも多くの被災者の声に耳を傾け、心の痛みを共に感じ、寄り添い続けた日々。震災後の心のケアの実践に道筋をつけ、日本におけるPTSD（心的外傷後ストレス障害）研究の先駆者となりました。在日韓国人として生まれ、志半ばでこの世を去りながらも、険しい道を共に歩んだ妻との「夫婦の絆」と、彼が寄り添い続けた人々との「心の絆」を描きます。

NHK（総合）

1月12日（日）午前0:10（※土曜深夜）第1・2話放送

1月13日（月・祝）午前0:10（※日曜深夜）第3・4話放送



1月1日折りと共に～「令和6年能登半島地震」から1年

新年2025年1月1日、石川県能登半島で最大震度7の揺れを観測する大地震が発生から1年が経ちました。建物の倒壊や津波の被害などで死者は470人以上に（災害関連死含む）といわれています。

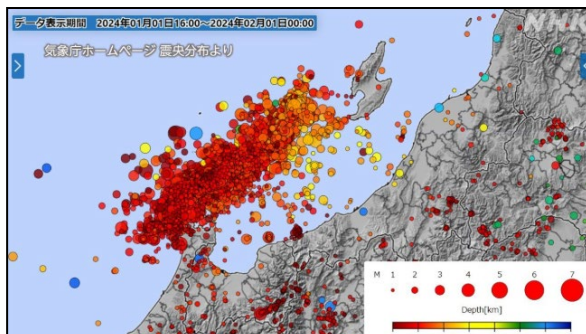
石川県で初めての震度7

気象庁によると、石川県で震度7を観測するのは、あの地震が観測史上初めてだという。気象庁は、今回の一連の地震活動を「令和6年能登半島地震」と名付けた。



その後も地震が相次ぎ

（上の図の●は地震を示す）震度1以上を観測する地震は1月1日の地震発生から1か月で1500回を超えていた。



能登半島地震から1年 輪島「出張朝市」にぎわう 石川

石川県輪島市では昨年の大みそかの31日も地震で被災した店などの「出張朝市」が出店し、正月用のもちや飾りなどを買い求める客でにぎわいをみせた。昨年9月に平安女学院にも、「出張朝市」が開かれ、能登のわかめや干し魚などの海産物や工芸品の品々が並べられ、文化祭の来場者や生徒たちも店先に列をなししていた。

年末、輪島に出店していた朝市通りで海産物を取り扱っている60代の女性は「今年は大変な1年でしたが、大みそかも営業ができ、地元のお客さんにも会えてとてもうれしいです。復興に向けて来年も力をあわせて頑張っていきたい」と話されていたという。

1・17を忘れない！ 阪神・淡路大震災から今年で30年

阪神・淡路大震災の記憶を語り継ぐとともに、神戸の復興と希望を象徴する行事として開催されてきた「神戸ルミナリエ」。震災30年となる節目の年を迎える今回は、「30年の光、永遠に輝く希望」をテーマに開催される。期間は1月24日（金）～2月2日（日）。



お知らせ

1月30日（木）、1、2限目中学2年生の総合の授業は、「奇跡の一本松」で知られている岩手県陸前高田市とオンラインで結んで授業が行われます。陸前高田市の市役所の人に防災のこと等、質問のある生徒は、総合科の教員まで、ぜひコメントを寄せてください。

